

フィリア・レター

～真の友人からの手紙～

発行所:中部労災病院

〒455-8530

名古屋市港区港明1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>



より民営に近くなったか!!

中部労災病院 副院長 正木 道熹

当院が平成16年4月より独立行政法人となり、運営形態がより民営に近くなりました。

職員一同がいわゆる公務員という感覚を脱し、意識変革をしたという具体的な行動として次のことがあります。

現在、非常に注目されております睡眠時無呼吸症候群の睡眠モニター検査(一泊二日アプノモニター検査)を土日祝日に行うこととしました(平成16年11月から開始)。

患者様と家族の方の利便性を高めるため、一部の診療科で土曜日手術を行うことを検討しております。また、今年5月の黄金週間は休日が長期にわたるため、医療に空白が生じ地域の皆様方に不安を与えることとなります。当院は黄金週間に1日でも多

く平日に近い診療を行うことを検討しており、患者様方、地域の皆様方に安心感を持っていただくよう努力したいと考えております。

その他にも患者様の視点に立った医療を数多く展開してまいりたいと思いますので、皆様方のご意見ご要望をお聞かせ下さいませようお願いします。



平成19年度建物完成予定図

今月号のお知らせ

①より民営に近くなったか!!

..... 正木副院長

②③医師のページ

子宮筋腫と子宮内膜症

..... 加藤部長

④看護師のページ

ストーマケアや傷・褥瘡(じょくそう)などの相談にのります!
糖尿病センターについて

⑤『呼吸療法認定士』について

『マンモグラフィ』をご存知ですか?

⑥ボランティアのページ

医師

子宮筋腫と子宮内膜症



産婦人科部長 加藤 千豊

最も代表的な産婦人科疾患である子宮筋腫と子宮内膜症について。

子宮筋腫とは

子宮平滑筋の良性腫瘍で、女性ホルモン(卵胞ホルモン)によって増殖します。

子宮内膜症とは

子宮内膜が子宮内腔以外の異所性に増殖する病態で、月経により生ずる炎症です。

両疾患の症状は

子宮筋腫：過多月経(月経血が多い)、月経痛、貧血。

子宮内膜症：月経痛、性交痛、過多月経、不妊、貧血。

症状はよく似ています。両疾患を合併している方も多くみられます。筋腫の症状は、筋腫の大きさよりも筋腫のある位置によって大きく異なります。子宮の内腔に近く、影響を及ぼす場所にある筋腫は、小さなものでも強い症状を起こします。内膜症は、

筋腫よりも比較的若い女性に多いため、痛みだけでなく不妊が大きな問題となります。

子宮筋腫の治療は手術療法で、挙児希望のある方(赤ちゃんがほしい方)は筋腫のみを摘出する筋腫核出術、挙児希望のない方は子宮を摘出する子宮全摘術を行います。子宮を摘出すると更年期が来ると思われる方もありますが、卵巣を摘出しない限り更年期は生じません。(もっとも、その年齢が来れば卵巣の有無に拘わらず訪れるかもしれません。)手術は症状の程度に応じて行いますが、無症状でも筋腫が大きければ行います。筋腫は良性とはいえ腫瘍です。閉経しても大きなものはなくなりません。逆に、癌より悪性の強い肉腫が生まれるかもしれません。そのため、ある程度の大きさの子宮筋腫は手術するのが一般的です。

★「フィリア・レター」は、中部労災病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発行しています。

◆◇◆ 子宮筋腫と子宮内膜症の相違点 ◆◇◆

	子宮筋腫	子宮内膜症
増殖因子	女性ホルモン	月経
主症状	過多月経 腹部腫瘤感	月経痛、不妊
その他の症状	腰痛、腹痛、貧血	
好発年齢	30~40歳代	20~40歳代
治療	手術療法	偽閉経療法 手術療法

内膜症の治療は、偽閉経療法といって、お薬で一時的に閉経状態にし、月経を止める治療です。約半年ほど止めて、腹腔内の炎症を抑えます。しかしながら、これは一時的な治療で、治療後数年症状が軽快することもあります。完全に直すには子宮摘出か本当の閉経を待つしかありません。不妊症の原因疾患でもあるため早期の治療、管理が必要です。ただ、妊娠・分娩することが内膜症の治療ともなるので内膜症の方は早く妊娠することが良いと思われます。

子宮筋腫も子宮内膜症も年々、若い方に激増しています。不妊症の増加、少子化の一因となっているのは明らかですので、症状に心当たりの方は早めに産婦人科に受診してください。



● 産婦人科外来 ●
TEL 052-652-5511 (内線: 281)



★中部労災病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉がご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。



ストーマケアや傷・褥瘡(じょくそう)などの相談にのります!

当院では人工肛門や褥瘡(じょくそう)・傷などのケアに関する相談を受ける「スキンケア外来」という専門外来を設置しています。そして、WOC看護認定看護師という人工肛門のケアやいろいろな傷のケアに専門的に関わる看護師もおります。

自分で体の向きを変えることや歩くことが出来ず寝ていることが多くなる、また栄養も十分でない状態になると、褥瘡(じょくそう)が発生しやすくなります。現在は介護保険制度により自宅でも褥瘡(じょくそう)ができないよう、やわらかいマットを借りることが出来るようになりました。さらに当院では、寝具の工夫や体位の交換、食事メニューの考慮などを行うことによっ

て、入院中の患者さまにも褥瘡(じょくそう)をつくらないように、病院全体で取り組んでいます。

また、人工肛門の方へは皮膚のかぶれや日常生活の悩みなどの相談に応じています。

人工肛門や褥瘡(じょくそう)・傷などでお困りの方は、是非相談にお越し下さい。



● スキンケア外来 ●

毎週水・木曜日 午後～完全予約制
外科外来 052-652-5511(内線:261)

* 糖尿病センターについて *

当院には現在糖尿病患者さまの日常生活の相談に応じるスタッフが13名勤務しています。私たちは糖尿病患者さまが日々の療養生活の中で困った点にアドバイスできるように努めています。食事、インスリン注射、血糖



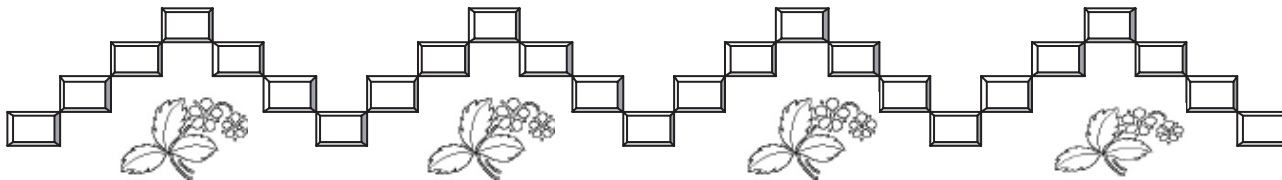
測定の事などお困りになっていることがありましたら、まずはお気軽に糖尿病センターにご相談下さい。



● 糖尿病センター ●

TEL 052-652-5511 (内線:511)





医療スタッフのページ

『呼吸療法認定士』について

病院にはたくさんの職種の人達があります。その中で、普段は看護師・理学療法士として独自の業務を行っていますが、呼吸ケアに関しての学習を深め、資格をもち、お互いが協力し合って取り組む呼吸療法認定士がいます。

こんなことをしています!

- 人工呼吸器を使っている方の呼吸管理
- 痰がうまく出せない方の排痰援助
- 在宅で酸素が必要な方への指導
- 楽に呼吸ができるようにするための筋力・体力向上の指導

現在は、入院中の患者さんへのケアが中心ですが、外来通院されている患者さんの呼吸ケアや相談も受け付けられるよう考えていきたいと思えます。

『マンモグラフィ』をご存知ですか？

マンモグラフィとは、乳房のX線撮影のことです。乳房は細かい組織でできている為に、乳房専用のX線装置を用いて撮影をします。放射線科では、今年の10月に新しいマンモグラフィの装置が導入されました!!

マンモグラフィは、しこりをはじめ乳房にできる病気を見つけることができ、しこりとして触れないごく早期の乳癌(微細石灰化)も発見することができる有用な検査です。通常の検査では、乳房を透明な圧迫板で片方ずつ挟んで薄くし、上下方向と左右方向の2方向の撮影を行います。圧迫の際、痛みを(個人差があります)伴いますが、良いマンモグラフィを得るためには圧迫はどうしても必要なことです。少しの間がんばってください。

また、乳房は女性ホルモンの影響を受けています。どの期間でも検査には支障はありませんが、月経開始後1週間くらいの時期に検査を受けると圧迫による痛みは緩和されます。

当院では、基本的に女性技師が対応しています。

早期発見、早期治療のためにも、定期的に検査を受けることをおすすめします。

なお、40才以上の女性においては、平成16年10月より2年に1度名古屋市から、乳癌検診料の助成制度が実施されています。

● お問い合わせ・予約 ●
 乳癌検診実施日：木曜日午後
 外科外来 052-652-5511 (内線：261)



病院ボランティア 「四つ葉のクローバーの会」のページ

中庭に癒しの空間を！ 色鮮やかな花壇が誕生しました。

ギャラリーコーナーから望む中庭に眼を留めてくださった方もごさいましょうか？

菜の花やパンジー、花キャベツなどが、色鮮やかに咲き始めています。

しかし去年の今頃は雑草や木の根がはびこり、いたる所に小石が転がる殺風景な場所でした。季節の移ろいの見えない中庭。そこで私たちは荒地を花壇に生まれ変わらせようと動き始めました。あれから約一年、色とりどりの花々が生き生きと育っているのを見るにつけ、真夏の草むしりや肥料運び、真冬の水運びなど、感慨深く思い出します。

廊下を通られた折、春の花々を愛でてくださいと願います。



ボランティアさんを募集しています

初めて病院を訪れたとき、戸惑ったことはありませんか？
あなたの温かい心を生かしてみませんか？
みなさんぜひご参加ください。

● お問い合わせ先 ●

中部労災病院 庶務課 ☎052-652-5511(代)まで



編集後記

あたたかな日差しにぬるい風、気づかぬうちに芽を出していた雑草。病院への出退勤の折に気づく自然の変化に、春を肌で感じ入る日々です。とはいえ院内に眼を向けるとインフルエンザの方も多く、街に繰り出すと花粉症らしき方も少なくありません。皆さまもくれぐれもご自愛下さいませ。まもなく桜のつぼみもほころび始めましょう。(A. N)

